

令和2年度シラバス (教科・科目：公民・倫理)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
『現代の倫理 改訂版 (山川出版)』	なし

学習目標
人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
第Ⅰ部 青年期と自己の課題 (18)	自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえる。	前期中間考査
第Ⅱ部第1章 人間としての自覚 (18)	人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解し、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索することを通して、人間としての在り方生き方について考えを深める。	前期期末考査
第Ⅱ部第2章 世界の中の日本人 (17)	日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解し、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深める。	後期中間考査
第Ⅲ部 現代社会と倫理 (17)	人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付け、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深める。	後期期末考査

計 70 時間 (50 分授業)

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用 of 技能	④知識・理解
授業への取り組みから公民としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	暗記だけでなく、自分なりの解釈ができ、適切に表現している。	資料を有効に活用しながら適切に選択して効果的に活用している。	定期考査や課題の提出などを通じて、基本的な事柄を理解し、知識を身につけている。

授業の進め方、課題・提出物など
教科書と授業プリントを使用して進めていきます。年に数回、課題の提出をしてもらいます。 教科書・ノート (あるいは配布プリント) ・筆記用具を必ず毎時間用意してください。 成績は定期考査の成績を中心に、出席状況・提出物・プリントやノート作成の状況や授業態度などを総合的に勘案して評価します。

担当者からのメッセージ
過去に生きたさまざまな人々の思想を学ぶことを通じて、人間とはいかに生きていくべきかについて、思索を深めてほしいと思います。